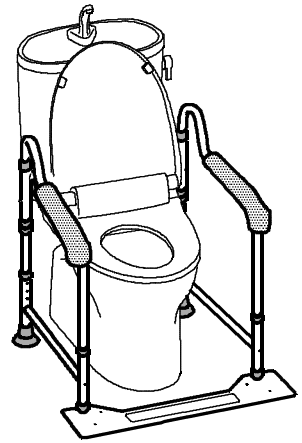


# イーストアイ トイレの手すり 折りたたみタイプ (品番:MW50) 取扱説明書



【設置イメージ図】

この度は、「イーストアイトイレの手すり 折りたたみタイプ」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。また、この「取扱説明書」はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

【ご使用前に】※必ずお読みください



●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らずに使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

- この製品は、洋式トイレ便座への腰掛け・立ち上りを補助するための手すりです。  
和式トイレ、ポータブルトイレには使用できません。  
また、ご使用の際は、後脚の吸盤を床面に吸着させ、前面踏板に両足をのせて、左右の手すりに均等に体重をかけてご使用いただく手すりです。(右図参照)  
ご使用前に専門家(医師、理学療法士、介護福祉士、ケアマネージャー等)に使用することが可能かどうかを、ご相談ください。  
また、長期間ご使用される間に、使用される方の症状が変わる場合があります。  
定期的に専門家にご相談ください。

○用具選定の際の適合が十分でなかったり、正しい使用方法ができないと、症状の悪化や転倒事故などの原因となります。

●使用される方の体力や状態により、介助の方が付き添いご使用ください。

●製品は使用とともに劣化が進みます。取扱説明書をご参照の上、使用毎に各部を点検し、メンテナンスしていただきますようお願い申し上げます。この製品の保証期間はご購入日より1年間です。なお保証期間を経過し、長年ご愛用いただいております製品につきましては、特に注意して点検をしていただき、異常が見られる場合は、即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合わせをお願いいたします。

## <設置場所の事前確認>

●通常住宅改修などで壁や床に固定するタイプの手すりとは異なり、特別な固定工事をせずに既存の洋式トイレにあとから簡易設置できることが特長の製品です。  
次頁で、この「トイレの手すり」がご使用できるトイレかどうかを必ず、ご確認ください。

○無理な設置をされますと手すりが安定せず転倒事故などの原因となります。



**警告**

**<使用できないトイレの確認>**

**(1) 吸盤が作用しない床では使用できません。**

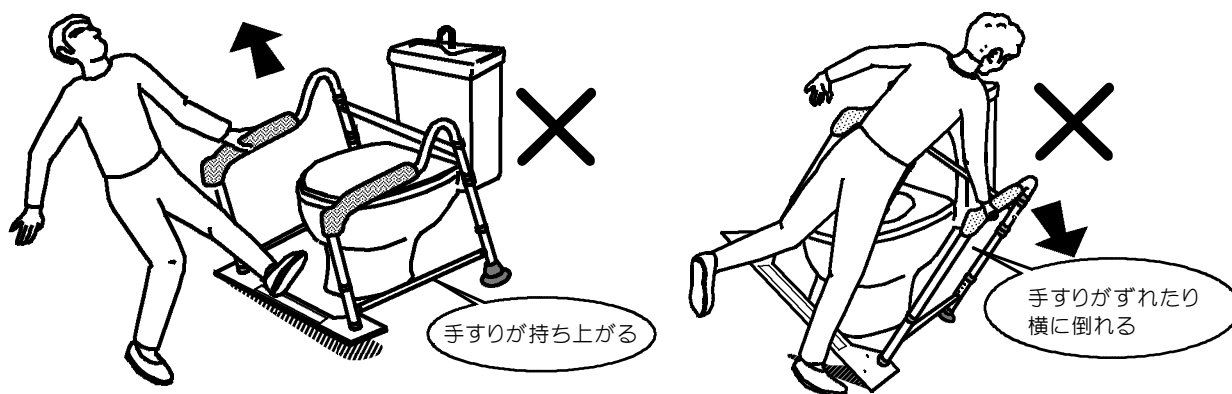
吸盤が床に吸着しない場合は、『吸盤がトイレの床に吸着しない場合:8頁』をご参照ください。

**(2) 補助ベルトが取付けられないトイレでは使用できません。**

※便器の形状によっては、補助ベルトを取付けられない場合があります。  
補助ベルトを取付けられない場合には、本製品は使用できません。



※本製品は、一般的に床や壁などに固定せず床に置いて使用するため、トイレ室内が広い場合やご使用される方の症状により、とっさにトイレの手すりに頼り、つかまった場合、横転する危険性があります。



危険性の少ない方が使用される場合でも、安全のために補助ベルトを必ず取付け、『【6. 使用方法】:9頁』に従い手すりを正しくご使用ください。

補助ベルトの取付方法については、『(6) 補助ベルトを取付ける:9頁』をご参照ください。

**(3) ご使用される方の症状により、「手すりの片側に偏った力がかかる場合」や**

**「前面踏板に両足をのせて体重をかけることができない場合」**

→前面踏板を付属の前面踏板固定用ビスで床固定してご使用ください。

**\* 前面踏板の固定ができない場合は使用できません。**

前面踏板の床固定については、『(7) 前面踏板の固定方法:9頁』をご参照ください。

ねじ固定ができない床の場合(コンクリート・タイルなど)はアンカーなどで固定工事をしてください。

ご使用可能な場合は、4頁以降の警告などもあわせてよくお読みになり正しくご使用ください。

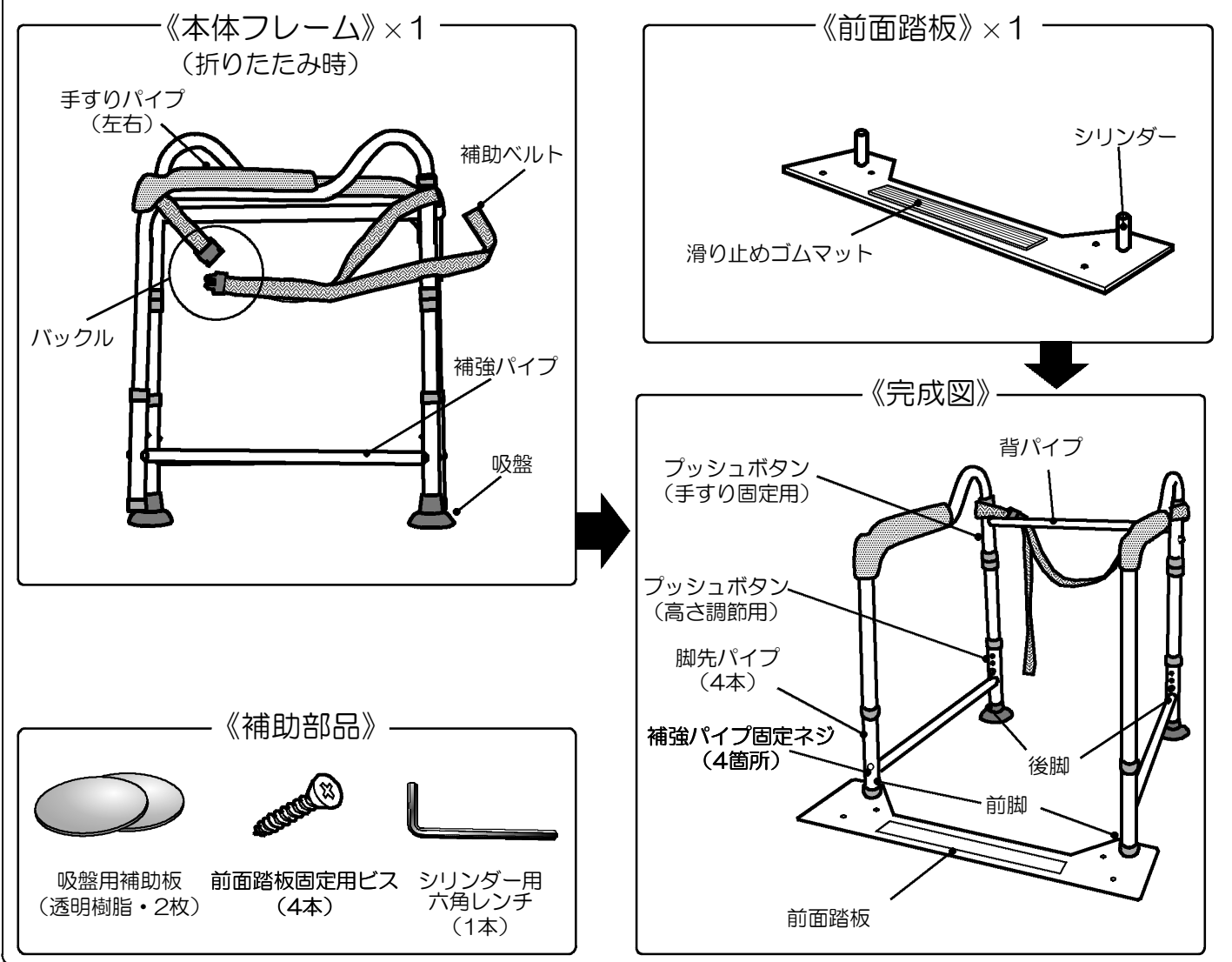
## 目次

- |                        |                                |
|------------------------|--------------------------------|
| 1. ご使用の前に.....1～2P     | 6. ご使用方法 .....9P               |
| 2. 各部の名称 .....3P       | 7. お手入れの際のチェックポイント .....10～11P |
| 3. 警告表示の説明.....4P      | 8. 品質表示.....11P                |
| 4. 使用上の警告と注意 .....4～6P | 9. 安全に製品をご使用いただくために.....12P    |
| 5. 組立設置方法 .....7～9P    |                                |





## 【2. 各部の名称】

各部品の種類、および数量をご確認ください。

万一不足している場合には、「アフターサービスのお問合せ先:12頁」または発売元までお問合せください。



### 【3. 警告表示の説明】

<p><b>警告表示：</b>  <b>警告</b></p> <p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用する方が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>	<p><b>警告表示：</b>  <b>注意</b></p> <p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用する方が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
<p><b>図記号：</b>  <b>禁止</b></p> <p>使用の際に「してはいけない内容(禁止)」を示しています。</p>	<p><b>図記号：</b>  <b>必ずおこなう</b></p> <p>使用の際に「必ずお守りいただく内容(実行)」を示しています。</p>

### 【4. 使用上の警告と注意】 \* 安全のために必ずお守りください

#### **警告**

●は使用に際しての具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らずに使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

#### プッシュボタンの ロックを確認



#### **必ずおこなう**

- 手すり固定用プッシュボタンが大きく飛び出した状態にロックされていることをご確認の上ご使用ください。ロックされていない場合は、一度本体フレームをシリンダーから抜き、「カチッ」と音がしてロックされるまで、何度か手すりパイプを動かしてください。プッシュボタンに異常がみられる場合は使用せずに、『アフターサービスのお問合せ先：12頁』または発売元へ修理をご依頼ください。
- 使用中に手すりが不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
- 手すりの高さを調節する際、高さ調節用プッシュボタンを脚先パイプの穴から大きく飛び出した状態にロックしてご使用ください。『手すり高さの調節：8頁』をご参照ください。プッシュボタンに異常がみられる場合は使用せずに、『アフターサービスのお問合せ先：12頁』または発売元へ修理をご依頼ください。プッシュボタンを深く押しすぎると、パイプの中に入り込んでしまう場合があります。この場合は一度脚先パイプを外し、プッシュボタンを出してからセットし直してください。
- ロックできないまま使用すると、手すりが傾き、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

#### プッシュボタンを 同じ穴位置にセット

#### **必ずおこなう**

- 脚先パイプの同じ穴位置にプッシュボタンをセットしてください。『手すり高さの調節：8頁』をご参照ください。
- 手すりが不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

#### 吸盤をしっかり 作用させて使用

#### **必ずおこなう**

- 手すりパイプ後脚の吸盤を床にしっかりと吸着させてご使用ください。トイレの床に吸盤が吸着しない場合は(床面がタイル張りなど)、付属の吸盤用補助板を床に貼付けてその上に吸盤をしっかり吸着させてご使用ください。「吸盤がトイレの床に吸着しない場合：8頁」をご参照ください。
- 吸盤は時間が経過すると外れることがあります。ご使用前に左右の吸盤が吸着していることを確認し、外れている場合はしっかり床に吸着させてください。
- 手すりパイプがしっかり固定されず、力がかかった時に手すりがずれて、便器や周囲の機器(温水洗浄便座、給水管など)の破損や、使用される方が転倒するなどして思わぬ事故の原因になります。

# 警告

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らずに使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

## 前面踏板に両足をのせて使用

### ❗必ずおこなう

- 便座に腰掛ける時、便座から立ち上がる時、特に前面踏板を床に固定しないで使用される場合は、必ず前面踏板に両足をのせてご使用ください。
- この製品は、後脚の吸盤を作用させた後、前面踏板に両足をのせて体重をかけることで安定します。前面踏板に両足をのせずに使用すると、手すりが安定せず、使用される方が転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

## 偏った体重をかけない

### ❗必ずおこなう

- 便座に腰掛ける時、便座から立ち上がる時は、必ず左右の手すりパイプを握り、均等に力が加かるようにご使用ください。  
使用される方の身体の状態により、片側の手すりパイプに偏って体重がかかる場合は、前面踏板を床に固定してご使用ください。
- 片側の手すりパイプだけに偏って体重をかけすぎると、身体の向きを変える時などに、使用される方が転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

## 立ち上がる際に、手すりを引っ張らない

### ❗必ずおこなう

- 立ち上がる際に、手すりパイプを引っ張らず、下へ押しつけるようにしてご使用ください。
- 手すりパイプを引っ張るとパイプがシリンダーから抜けるなどし、手すりが不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

## ネジがゆるんだまま使用しない

### ❗必ずおこなう

- ネジは使用とともにゆるみが出る場合があります。ご使用前にネジのゆるみをご確認ください。また、ネジがゆるんでいる場合はレンチやドライバーでしっかり締め付けてください。
- 手すりが不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

## パイプを曲げ戻さない (修理の禁止)

### ⊘禁止

- パイプに変形が見られる場合は、無理やり元の状態に曲げ戻さないでください。
- アルミパイプの性質上、一度曲がったパイプを曲げ戻して使用すると、徐々にパイプに亀裂が入り使用中に突然折れて、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。パイプに変形、異常が現れた場合には使用せずに、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合せください。

## 改造をしない

### ⊘禁止

- パイプに穴を開けたり、他の部品を取付けたり、他の部品に取替えるなどの改造は絶対にしないでください。

# ⚠ 注 意

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らずに使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

## 用途について

### ⊗ 禁止

●この製品は、洋式トイレ便座への腰掛け・立ち上りを補助するための手すりです。このトイレの手すりは和式トイレ、ポータブルトイレには使用できません。洋式トイレの手すり以外の用途では使用しないでください。

○用途以外の使用をすると、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

## 介助者が付き添い使用

●使用される方の体力や状態により、介助の方が付き添ってご使用ください。

## 指はさみに注意

●脚先の高さ調節時、設置時、折りたたむ時など指はさみにご注意ください。

## 前脚が浮き上がったまま使用しない

### ❗ 必ずおこなう

●前脚は常にシリンダーの奥まで差し込まれた状態に保ってください。また、ご使用前に、前脚が前面踏板から浮いてシリンダーが見えていたら、前脚をシリンダーの奥まで差し込み直してご使用ください。また、ご使用後に、前脚が浮いていたら同様に差し込み直してください。

○前脚が前面踏板から浮いた状態で使用をすると、パイプが変形してガタつきの原因になります。

## 乱暴な取扱いはしない

### ⊗ 禁止

●乱暴な取扱いはしないでください。

○製品本体が変形や破損する恐れがあります。また、手すりが便器にぶつかるなど、便器や周囲の機器(温水洗浄便座、給水管など)の破損をまねく恐れがあります。

## ネジ頭のとガリに注意

### ❗ 必ずおこなう

●補強パイプのゆるんだネジを締める時に、サイズの合わないドライバーを使用したり、無理にこじると、ネジ頭が傷つきトガリが出ることがあります。万トガリが出た場合は、ヤスリなどをかけ、ネジ頭をなめらかにしてください。(＋ドライバーNO.3がおすすめです。)

○ネジ頭のとガリにより指などを傷つける恐れがあります。

## 組立時の注意

### ⊗ 禁止

●前脚を無理やり前面踏板のシリンダーへ差し込まないでください。差し込みにくい場合は、一度シリンダーをレンチで緩めて、差し込み、シリンダーを締め直してください。

○本体フレームが変形してガタつきの原因になります。変形した場合は曲げ戻さず、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元まで修理をご依頼ください。

## その他

(色移りに注意)

### ❗ 必ずおこなう

●ご使用後はよく手すりをお手入れしてください。  
(【7.お手入れの際のチェックポイント】10～11頁参照)

○水気が残ったまま放置すると、吸盤の色やサビなどが溶け出し、床に付着する場合がありますのでご注意ください。

## 異常が現れた時には(修理の禁止)

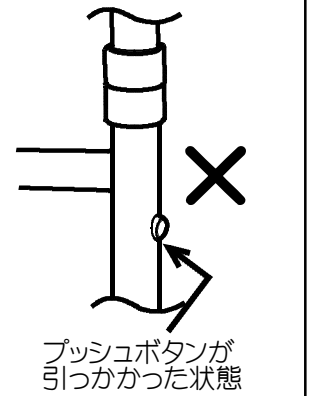
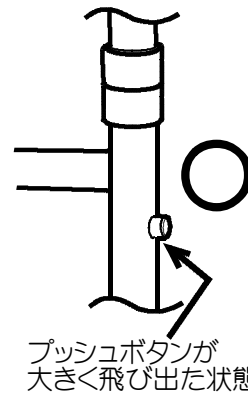
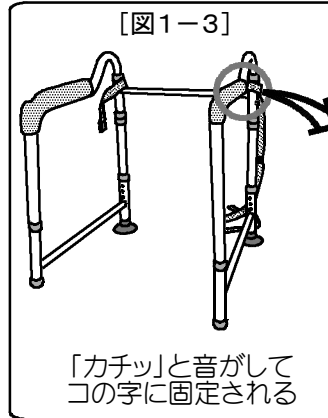
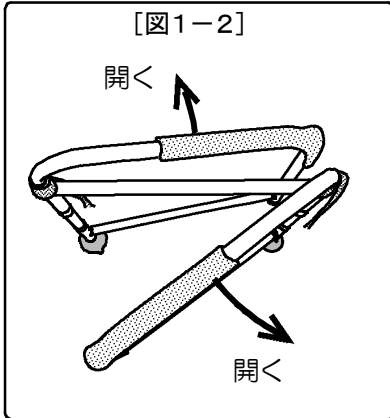
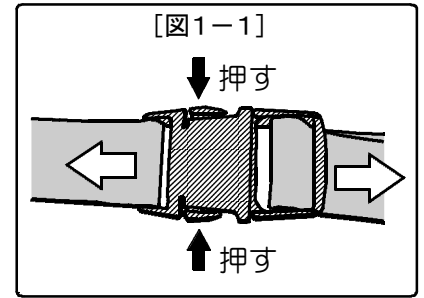
### ⊗ 禁止

●『7.お手入れの際のチェックポイント:10～11頁』をご参照の上、ご使用前に各部を点検してください。万一、製品に破損、変形などの異常が現れた場合は即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合せください。お客様ご自身での修理は絶対にしないでください。

## 【5. 組立設置方法】

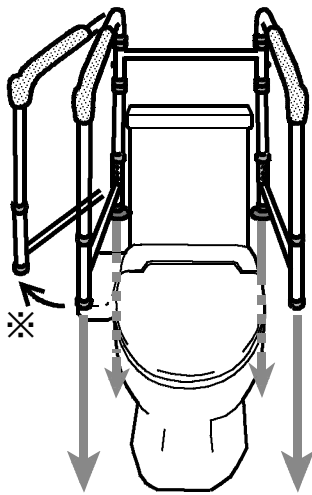
### 1. 手すりを左右に開き固定します

- 1-1. 製品は補助ベルトが締められた状態でバックルが固定されています。  
右図黒矢印の部分をつまんでバックルを外してください。
- 1-2. 手すりパイプをたたんだ状態からゆっくり開いてください。
- 1-3. 本体フレームをしっかりとロックしてください。  
プッシュボタンが穴から大きく飛び出した状態になります。  
(上から見ると「コの字」に固定されます。)



### 2. 本体フレームをトイレに設置

- 2-1. 本体フレームの背パイプ(後脚)側を奥にして便器の上から設置してください。



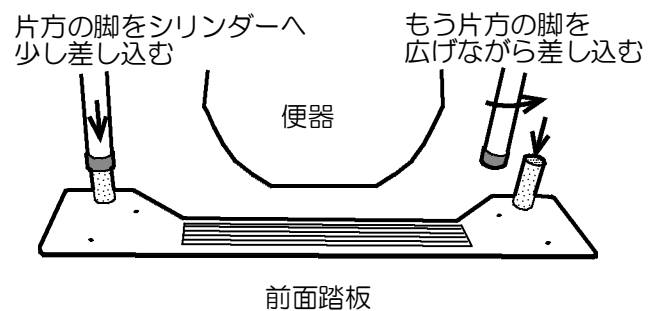
※温水洗浄便座の操作パネルなどに本体フレームが当たって設置が困難な場合は、一度、手すり固定用プッシュボタンを押して本体フレームの固定を解除した状態で設置した後、再度本体フレームを固定してください。

#### ⚠ 注意

- 設置時に便器等を傷つけたり電気コードを巻き込まないようにご注意ください。

### 3. 前脚を前面踏板に取付ける

- 3-1. 前面踏板をシリンダーのある側を便器に向けて置いてください(下図参照)。
- 3-2. 片方の前脚を前面踏板のシリンダーに2~3cmほど軽く差し込んでください。
- 3-3. もう片方の前脚も同様に、シリンダーに軽く差し込んでください。
- 3-4. 左右の脚を同時にシリンダーの奥まで差し込んでください。

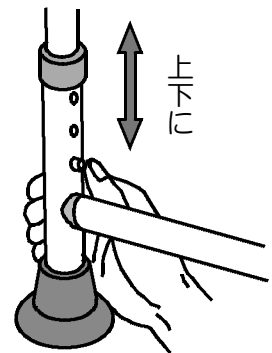


#### ⚠ 注意

- 前脚を差し込む時に、手すりの幅をシリンダーの間隔よりも広げないでください。パイプが変形し、手すりが不安定になる原因となります。
- 片方の脚だけを奥まで差し込まないでください。もう片方が差し込めなくなります。
- 前脚が前面踏板から浮かないようにシリンダーにしっかりと差し込んでください。

#### 4.手すり高さの調節

脚先パイプに出ている高さ調節用プッシュボタンを押して、手すりパイプを上下に動かし、使いやすい手すりの高さになる位置にプッシュボタンを合わせてください。



#### 警告

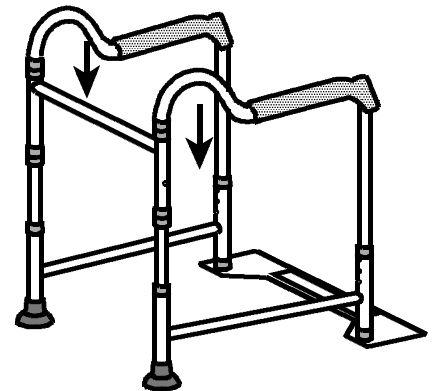
- 手すりが安定するように4本の脚先パイプとも同じ穴位置にプッシュボタンをセットしてください。
- 手すりが不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
- 高さ調節用プッシュボタンを脚先パイプの穴から大きく飛び出た状態にロックしてご使用ください。
- ロックできないまま使用すると、手すりが傾き、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

#### 5.吸盤を床に吸着させる

手すりパイプの上から力をかけて吸盤を床に吸着させます。

#### 注意

- 吸盤の奥までパイプが差し込まれていることをご確認ください。脚先パイプが吸盤の奥まで入っていないとガタつきます。手すりの開きを固定して床に置いた時にガタつきがある場合は、吸盤を奥まで押し込んでください。

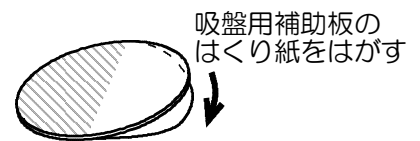


#### \* 吸盤がトイレの床に吸着しない場合

トイレの床面がタイル張りなどで吸盤が吸着しない場合は、付属の吸盤用補助板をご使用ください。貼付後は吸盤がしっかりと作用することをご確認ください。

#### <吸盤用補助板の取付方法>

- ①トイレの床面のほこりや汚れなどをふき取りよく乾燥させてください。
- ②トイレの手すりを仮設置して吸盤の位置を確認してください。
- ③吸盤用補助板裏面のはくり紙をはがし、仮設置で確認した吸盤の位置にしっかりと貼付けてください。
- ④トイレの手すりを設置してください。



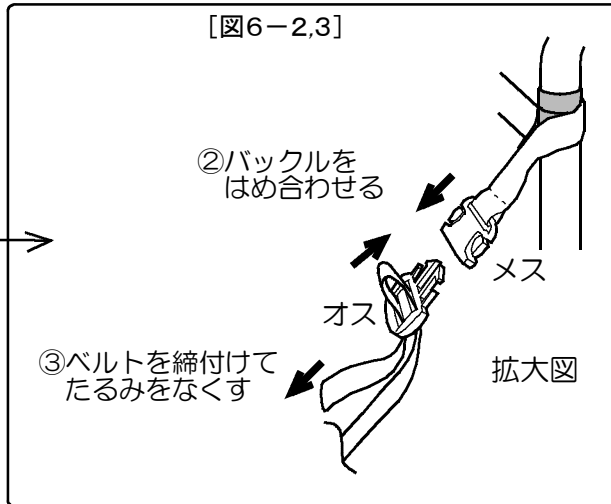
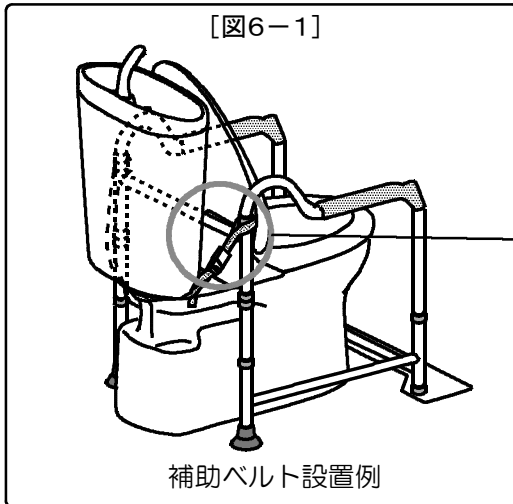
「吸盤用補助板の貼付けができない床材質の場合」 } → この手すりは使用できません  
「吸盤用補助板が、はがれやすい床材質の場合」 }

#### 注意

- 貼付けた吸盤用補助板をはがす時、貼付けた床材によっては表面が破れるなど破損することがあります。貼付け前に床材をよくご確認ください。
- 吸盤用補助板裏面の粘着面は、一度貼付けてからはがすと、粘着力が落ちます。貼り直すことのないように、貼付ける位置を正確に確認した上で貼り付けてください。
- 吸盤用補助板は消耗品です。粘着力が弱くなりはがれる場合は、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合せください。

## 6.補助ベルトを取付ける (組立設置方法 1-1でバックルを外しています。)

- 6-1.バックル(オス)のついた長いベルトを便器の下部に引っ掛け、バックル(オス)を短い方のベルトのバックル(メス)にはめ合わせます。
- 6-2.ベルトがたるまないように締め付けてください。手すりが持ち上がらないことをご確認ください。
- 6-3.ベルトの端が余る場合には、床に垂れないようにベルトに巻きつけて処理してください。

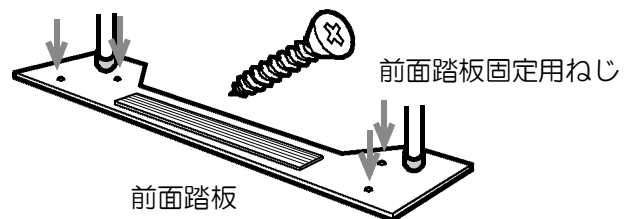


### ⚠ 注意

- ベルトで給水管や電気コードなどを巻き込まないようにご注意ください。
- ご使用前にベルトのゆるみを確認し、ゆるみがある場合には締め直してください

## 7.前面踏板の固定方法

前面踏板の床固定が必要な場合は、前面踏板固定用ビスを前面踏板のネジ穴に通して床に固定してください。ビス固定ができない床の場合(コンクリート・タイルなど)は、はアンカーなどで固定工事をしてください。



## 【6. 使用方法】

- ①使用時に後脚の吸盤を作用させる
- ②前面踏板に両足をのせ、手すりを安定させる
- ③手すりの上から左右均等に体重をかけて使用します。

### ⚠ 注意

- 使用される方の体力や状態により、介助の方が付き添ってください。
- 吸盤は時間が経過すると外れることがあります。ご使用前に左右の吸盤が吸着していることを確認し、外れている場合は床に吸着させてください。
- ご使用前に前脚が前面踏板から浮いた場合は、シリンダーの奥まで前脚を差し込み直してください。
- ご使用前に補助ベルトのゆるみを確認し、ゆるみがある場合には締め直してください。



## 【7. お手入れの際のチェックポイント】



●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らずに使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

トイレの手すりを長く安全にお使いいただくために、以下の項目をご使用前に点検してください。  
万一、製品に破損、変形などの異常が現れた場合は即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元まで修理、交換をご依頼ください。お客様ご自身での修理は絶対にしないでください。

### <お手入れの際のご注意>



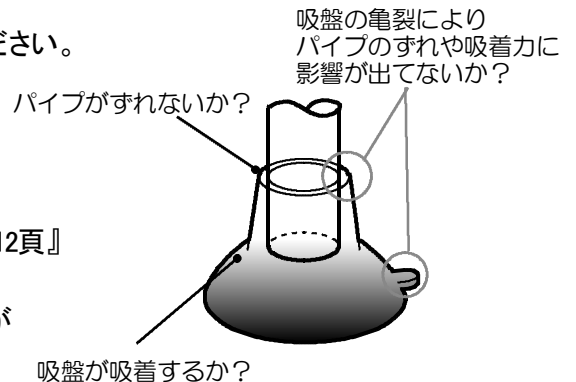
- お手入れの際にはケガなどには十分にご注意ください。
- 使用時に濡れた場合は本体の水気をよくふき取ってください。また、汚れた場合は早めに汚れをふき取ってください。  
○汚れたまま、濡れたままで放置すると金属部分がさびが出たり、樹脂部品の劣化(退色、亀裂)が進行しやすくなる原因になります。
- 汚れを落とす際には、水または薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞り、汚れをふき取った後は、乾いた布で水気をしっかりふき取ってください。シンナーやベンジン、塩素系洗剤等は使用しないでください。  
○シンナーやベンジン、塩素系洗剤等で手すりやゴム部分が劣化したり、溶け出す恐れがあります。

### <吸盤>

- ・吸盤がトイレの床に吸着するかご確認ください。
- ・吸盤がパイプから簡単にずれたり、吸盤に亀裂がないかご確認ください。



- ご使用とともに吸盤のゴムが劣化して亀裂が入ることがあります。  
吸盤に亀裂がみられた場合は、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合せください。
- 吸盤が床に吸着しなくなったり、ご使用中に吸盤から脚先パイプが抜けたりして、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

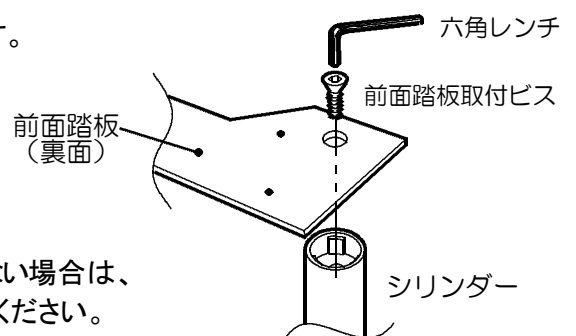


### <シリンダー>

- ・シリンダーにグラつきがないかご確認ください。  
シリンダーがグラつく場合は、付属の六角レンチを使ってシリンダーを締め付けてください。シリンダーは下図のようにネジ止めしてあります。  
締め付ける時は、ネジが空回りしないようにシリンダーを片手で押さえてください。



- シリンダーや前面踏板取付ビスの変形などでシリンダーが固定できない場合は、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合せください。
- シリンダーが固定されないと手すりが不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。



## 【7. お手入れの際のチェックポイント】続き



**警告**

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らずに使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

### <本体フレーム>

- ・パイプやプッシュボタンの穴付近に変形や亀裂などがいないかご確認ください。
- ・補強パイプの取付ネジがゆるんでいる場合は締め直してください。
- ・背パイプはスチールです。水分や汚れはこまめにふき取ってさびないようにしてください。



**警告**

- パイプに変形がみられる場合は、無理やり元の状態に曲げ戻さないでください。パイプに異常が現れた場合には、使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元まで修理をご依頼ください。
- アルミパイプの性質上、一度曲がったパイプを曲げ戻して使用すると、徐々にパイプに亀裂が入り、使用中に突然折れて転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

### <手すり樹脂部分>

- ・手すり樹脂部分が割れたり、劣化していないかご確認ください。
- ・手すり樹脂取付ネジが緩んでいる場合は締め直してください。

### <前面踏板>

- ・前面踏板にさびが出ていないかご確認ください。  
水やお小水がかかるなどして汚れたまま、濡れたままで放置するとさびが出ます。汚れや水分はこまめにふき取って清潔に保ってください。
- ・滑り止めゴムマットにはがれや切れがないかご確認ください。

### <吸盤用補助板> (ご使用の場合のみ)

- ・吸盤が吸盤用補助板に吸着するか、吸盤用補助板が床面にしっかりと貼付しているかご確認ください。  
吸盤用補助板に水がかかったまま放置すると、床面との粘着力が落ちたり、吸盤が吸着しづらくなり危険です。かかった水分はお早めにふき取り乾燥させてください。  
吸盤用補助板は消耗品です。粘着力が弱くなりはがれる場合は、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合せください。

## 【8. 品質表示】

寸 法	: 外形:幅665×奥行680×高さ680~730mm 手すり高さ:600~650mm
材 質	: ■本体フレーム:アルミ、スチール(背パイプ) ■手すり樹脂部分:ポリエチレン ■前面踏板:ステンレス(ゴムマット付き) ■補助ベルト:ポリエステル ■バックル:ポリアセタール ■吸盤用補助板:A-PET ■吸盤:合成ゴム
耐 熱 温 度	: 60度
取扱上の注意	: 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤をご使用ください。火のそばに置かないでください。
重 量	: 約4.1kg
製 造 元	: 株式会社イーストアイ

## 【安全に製品をご使用いただくために・・・】

### 《レンタル事業者様へ》

- 「イーストアイ・トイレの手すり・折りたたみタイプ」をレンタル品としてお取扱いいただきまして誠にありがとうございます。  
トイレの手すりをレンタルされる際には、使用者へ手すりの使用条件、使用方法、取扱い上の警告・注意事項など、この取扱説明書の内容について十分説明していただくようお願いいたします。また、実際に使用される場所をご確認いただき、周辺に障害物などの危険（例：トイレ用具、段差、敷物など）がある場合、使用者に対して、「使用環境の整備」と「事故防止の対策」などの提案をお願いいたします。この説明書の内容をご説明いただいた後、必ず下記『アフターサービスのお問合せ先』の各事項を記入の上、商品と一緒に使用者へお渡しください。
- ご使用前に専門家（医師、理学療法士、介護福祉士、ケアマネージャーなど）にご相談ください。長期にわたってレンタルされる場合は使用者の症状が変わる場合があります。定期的に使用者にとってこの用具が正しく、安全に使用することが可能かどうか、製品の状態、使用方法や使用状況などをご確認の上、再度、用具の選定の検討や正しい使用方法のご説明をお願いいたします。
- 定期的に利用者宅を訪問の際に、手すりの状態を「10～11頁：お手入れの際のチェックポイント」に基づきご確認いただき、メンテナンスをおこなってください。製品は外部から見て損傷がないように見えても、ご使用とともに金属疲労、紫外線などによる樹脂の劣化・退色、ゴムの摩耗や硬化などの経年劣化が進み、強度不足など総合的に製品の安全性に問題となる場合があります。点検後に異常が見られる場合は、即時に使用を中止して製品の回収をしていただき、下記：「製品についてのお問合せ先」まで修理のご依頼をお願いいたします。メンテナンス不良のまま製品の使用を続けると製品の破損や転倒など思わぬ事故の原因になります。定期的にメンテナンスをお願いいたします。
- 弊社では定期的に取扱説明書を改訂しております。商品をご購入後、1年以上を経過して再レンタルなどの場合には、ホームページから介護保険貸与対象福祉用具の「取扱説明書」の最新版をダウンロードしてご利用ください。  
(ホームページURL <http://www.easti.co.jp>)

### 《ご利用者様、介護される方へ》

- この度は「イーストアイ・トイレの手すり・折りたたみタイプ」をご使用いただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品を安全にご使用いただくための警告・注意事項や使用方法、お手入れの際のチェックポイントや点検方法などが記載してあります。レンタル開始時に必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、不明な点がございましたら、貸与を受けられているレンタル事業者までお問合せください。ご使用の間に、製品に破損や変形などの異常がみられる場合は、即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先：下記』または発売元までお問合せください。

#### 『アフターサービスのお問合せ先』

製品名

トイレの手すり・折りたたみタイプ  
(品番：MW50)

レンタル開始日 年 月 日

会社名 (住所/電話番号をご記入ください)

※商品に異常が見られる場合はすぐに使用を中止し上記レンタル事業者に連絡してください。

\*無断転載・複写を禁じます。

\*説明の都合上、実際の製品に対し、全てのイラストは簡略化しています。

\*製品を譲渡される場合は、必ず合わせて本説明書もお渡しください。

\*廃棄の際には、居住地の自治体の指示に従い処分・廃棄してください。



＜製品についてのお問合せ先＞

株式会社イーストアイ（発売元）

〒123-0864

東京都足立区鹿浜1-4-14

TEL 03 (3897) 9393 / FAX 03 (3897) 9535

[mw140925\_d1]